学校番号	４０５

令和２年度　美術科

教科	美術	科目	ビジュアル デザイン	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「美術３」　（光村図書）						
副教材等	油彩、アクリル絵の具セット等の教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・デザイン基礎で学んだことを活かし、視覚的な表現で目的や条件に合ったデザインを考え造形していきます。

２　学習の到達目標

・デザイン効果を考えて独創的な主題を生成し、表現の構想を練ること
・主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的なデザインを追求すること

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への 関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現方法の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作態度 ワークシート 鑑賞活動	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	色彩構成	・ガイダンス ・ハイコントラスト 写真から３色に色分解したイラストを制作する。色彩構成の応用編。 合評	○	○	○	○	a:色彩構成の応用編である。写真のコントラストを利用した色分解で意欲的に制作できている。 b:写真をイラスト化していく工程で、明度を分解し、色彩の特性を生かした３色を効果的に構成している。 c:色見本通りに混色ができ丁寧な着色表現ができている。 d: 合評。他者のデザインについて意見を述べる。	ワークシート 制作態度 制作途中の作品
	コンピュータグラフィック	・CD ジャケットデザイン ハイコントラストで描いたイラストをコンピュータに取り込み、Photoshop や Illustrator という画像処理の代表的なソフトを使って制作する。 合評	○	○	○		a:ポスターの果たす役割を理解し主体的にテーマ選びをしようとしている b:商品のよさを強くアピールできるような画面構成になるように工夫し仕上がりをイメージして制作過程を構築している c:テーマにふさわしい表現方法を工夫し計画や手順を確認しながら創造的に表現している	ワークシート 制作態度 制作途中の作品
2学期	展覧会鑑賞	・高校展鑑賞 鑑賞レポート提出	○			○	a:高校生の作品を見て多様な表現に関心を持ち、これからの制作に意欲を高めている。 d: 作者の技法や心情を読み取り自己の表現に生かす	鑑賞ワークシート

	広告ポスター	・広告ポスター制作 配色 着彩 展示 合評(プレゼン)	○	○	○	○	a:広告ポスターの果たす目的や役割を理解しようとしている b:商品のよさをアピールできるような効果的な配色をイメージしているか c:テーマにふさわしい表現方法を工夫し計画や手順を確認しながら創造的に表現している d:作者の意図や表現の工夫を感じ取り作品のよさの積極的理解に努めている	制作態度 制作途中の作品 作品 鑑賞ワークシート
	展覧会鑑賞	【鑑賞】 ・アートスタジアム展示 鑑賞レポート提出	○			○	a:自校の生徒作品を見て多様な表現に関心を持ち、これからの制作に意欲を高めている。 d: 作者の技法や心情を読み取り自己の表現に生かす	鑑賞ワークシート
3学期	パッケージデザイン	・パッケージデザイン ―保護するものの造形―	○	○	○	○	a:経験や身の回りの素材に着目し目的に合わせた用途の可能性を探ろうとする b:目的に合った素材を選び適した使い方や組み合わせを考え形にしようとしている c:発表を通して情報を交換し、得た知識を生かしてパッケージの構想を練っている d:作ったパッケージについて工夫した点を発表し互いに話し合っている	制作態度 制作途中の作品 作品 鑑賞ワークシート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。